

本部会のこれまでの取組について

◆がん検診受診メッセージキャンペーン

- ・ 家族や友人など大切な人へ検診の大切さを伝えるメッセージを募集する、府民参加型の取組について、チラシの配付やメッセージの募集等に協力
- ・ 優秀作品を各種啓発媒体に使用するなど、積極的に活用

最優秀賞：「多分大丈夫。でももしかして。だから受けてみて、がん検診」

優秀賞：「大切なあなたとずっと一緒にいたいから…今日は健診デート」

「敵を知る 先手必勝 ガン検診」

入賞作品：「いつも家族のことばかり心配してくれるけど

毎年1回は自分の身体だけを心配する日にしてください」 等々



本部会のこれまでの取組について

◆メッセージを活用した啓発物品の作成

- ・ 優秀作品を活用し、メッセージカードを作成
- ・ がん対策推進府民会議の参加団体が協力し、各所で配付
- ・ 母の日や父の日、敬老の日などに、子供から大人への啓発物として配付



本部会のこれまでの取組について

◆啓発リーフレットの作成

- ・部会としてリーフレットを作成し、府民に配付
- ・平成27年度に部会で協議を行い、一部改訂



◆職域におけるがん検診実施状況調査

- ・平成30年度に部会の取組として
職域のがん検診の状況を調査

平成30年度 職域におけるがん検診実施状況調査結果（概要版）

1.調査概要

対象年度：平成29年度

調査期間：平成30年12月7日～28日

回収結果

医療保険者種別	団体数	回答団体数	回収率
健康保険組合	27	27	100.0%
国民健康保険組合	11	6	54.5%
市町村国保	26	18	69.2%
全国健康保険協会	1	1	100.0%
共済組合	5	4	80.0%
合計	70	56	80.0%

2.調査結果

(1) がん検診実施率(被保険者)

(被保険者に対してがん検診を実施している団体の割合)

医療保険者種別	胃	大腸	肺	子宮頸	乳
健康保険組合	100.0%	100.0%	100.0%	96.2%	92.5%
国民健康保険組合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市町村国保	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	77.7%
全国健康保険協会	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
共済組合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) がん検診実施率(被扶養者)

(被扶養者に対してがん検診を実施している団体の割合)

医療保険者種別	胃	大腸	肺	子宮頸	乳
健康保険組合	88.8%	88.8%	92.5%	96.2%	92.5%
国民健康保険組合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
全国健康保険協会	-	-	-	-	-
共済組合	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	75.0%

(3) がん検診受診率(被保険者)

(各医療保険者の被保険者の内、各がん種の検診を受けた者の割合)

医療保険者種別	胃	大腸	肺	子宮頸	乳
健康保険組合	48.2%	52.4%	68.0%	34.8%	32.6%
国民健康保険組合	27.2%	34.5%	29.7%	19.4%	17.3%
市町村国保	6.0%	8.0%	7.2%	5.3%	4.6%
全国健康保険協会	39.3%	53.3%	60.7%	—	—
共済組合	33.9%	37.1%	56.8%	13.4%	10.2%

※市町村国保の受診率は、市町村が実施するがん検診の受診者を含まず、人間ドックの費用助成を利用した人の数から算出。

(4) がん検診受診率(被扶養者)

(各医療保険者の被扶養者の内、各がん種の検診を受けた者の割合)

医療保険者種別	胃	大腸	肺	子宮頸	乳
健康保険組合	25.8%	27.6%	16.9%	24.2%	25.4%
国民健康保険組合	22.9%	25.8%	24.6%	20.6%	19.6%
全国健康保険協会	—	—	—	—	—
共済組合	6.4%	7.4%	6.0%	2.4%	2.7%

※市町村国保では家族分の集計値はない。

※協会けんぽでは被扶養者について把握していない。

(5) 未受診者への受診勧奨有無別受診率(被保険者)

(医療保険者において受診勧奨があった場合、なかった場合の各がん種の検診を受けた被保険者の割合)

受診勧奨の有無	胃	大腸	肺	子宮頸	乳
受診勧奨有り	36.4%	48.9%	67.9%	12.2%	30.8%
受診勧奨無し	19.3%	20.9%	18.8%	11.0%	10.2%

(6) 未受診者への受診勧奨有無別受診率(被扶養者)

(医療保険者において受診勧奨があった場合、なかった場合の各がん種の検診を受けた被扶養者の割合)

受診勧奨の有無	胃	大腸	肺	子宮頸	乳
受診勧奨有り	36.9%	39.4%	38.3%	29.8%	35.0%
受診勧奨無し	20.2%	21.7%	14.3%	20.1%	20.1%

平成 30 年度職域におけるがん検診 実施状況調査結果

I 調査概要

(1) 調査目的

- 日本において、がんは 1981 年以後死亡原因の第 1 位であり、今や 3 人に 1 人はがんで亡くなっています。また、2 人に 1 人が一生のうちがんになると言われており、がん検診による早期発見・早期治療は重要です。
- がん検診には、市町村が実施するがん検診のほか、健康保険組合、全国健康保険協会、国民健康保険組合等の医療保険者が主体となって実施する「職域におけるがん検診」があります。
- 「職域におけるがん検診」の実施は義務ではなく、福利厚生の一環として行われているため、府で実態が把握できていないことから、がん検診の受診率向上に資することを目的として実態調査を行いました。

(2) 調査対象年度及び調査期間

- 対象年度：平成 29 年度
- 調査期間：平成 30 年 12 月 7 日～12 月 28 日

(3) 調査対象

医療保険者種別	団体数	回答団体数	回収率
健康保険組合	27	27	100.0%
国民健康保険組合	11	6	54.5%
市町村国保	26	18	69.2%
全国健康保険協会	1	1	100.0%
共済組合	5	4	80.0%
合計	70	56	80.0%

(4) 調査概要

- 各医療保険者における胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診の実施状況及び被保険者、被扶養者の受診状況 等

II 調査結果

(1) がん検診実施率

- 被保険者向けのがん検診実施率は概ね 100%。ただし、子宮頸がん、乳がんについては一部実施していない医療保険者もある（表 1）。
- 被扶養者向けのがん検診実施率は、被保険者向けと比べるとやや低い（表 2）。
- ほとんどの医療保険者では、『職域におけるがん検診に関するマニュアル（厚生労働省）』（以下、「マニュアル」という。）に記載された国が推奨する検査が実施されている。（表 3、4）

※国が推奨する検査

- ◇胃がん検診
 - ・胃部エックス線検査
 - ・胃内視鏡検査
- ◇大腸がん検診
 - ・便潜血検査
- ◇肺がん検診
 - ・胸部エックス線検査
 - ・喀痰細胞診
- ◇子宮頸がん検診
 - ・細胞診（医師による採取）
- ◇乳がん検診
 - ・マンモグラフィ

表 1 がん検診実施率（被保険者）

（被保険者に対してがん検診を実施している団体の割合）

医療保険者種別	がん種	実施団体数	回答団体数	実施率
健康保険組合	胃がん	27	27	100.0%
	大腸がん	27	27	100.0%
	肺がん	27	27	100.0%
	子宮頸がん	26	27	96.2%
	乳がん	25	27	92.5%
国民健康保険組合	胃がん	6	6	100.0%
	大腸がん	6	6	100.0%
	肺がん	6	6	100.0%
	子宮頸がん	6	6	100.0%
	乳がん	6	6	100.0%
市町村国保	胃がん	18	18	100.0%
	大腸がん	18	18	100.0%
	肺がん	18	18	100.0%
	子宮頸がん	15	18	83.3%
	乳がん	14	18	77.7%
全国健康保険協会	胃がん	1	1	100.0%

	大腸がん	1	1	100.0%
	肺がん	1	1	100.0%
	子宮頸がん	1	1	100.0%
	乳がん	1	1	100.0%
共済組合	胃がん	4	4	100.0%
	大腸がん	4	4	100.0%
	肺がん	4	4	100.0%
	子宮頸がん	4	4	100.0%
	乳がん	4	4	100.0%

※ 市町村国保においては人間ドックに係る費用助成の有無

表2 がん検診実施率（被扶養者）
（被扶養者に対してがん検診を実施している団体の割合）

医療保険者種別	がん種	実施団体数	回答団体数	実施率
健康保険組合	胃がん	24	27	88.8%
	大腸がん	24	27	88.8%
	肺がん	25	27	92.5%
	子宮頸がん	26	27	96.2%
	乳がん	25	27	92.5%
国民健康保険組合	胃がん	6	6	100.0%
	大腸がん	6	6	100.0%
	肺がん	6	6	100.0%
	子宮頸がん	6	6	100.0%
	乳がん	6	6	100.0%
全国健康保険協会	胃がん	-	1	-
	大腸がん	-	1	-
	肺がん	-	1	-
	子宮頸がん	-	1	-
	乳がん	-	1	-
共済組合	胃がん	4	4	100.0%
	大腸がん	4	4	100.0%
	肺がん	4	4	100.0%
	子宮頸がん	3	4	75.0%
	乳がん	3	4	75.0%

※ 国民健康保険には「被扶養者」という概念はないため、被保険者向け実施率と同率。市町村国保については集計値なし。

表3 マニュアルに記載された検査による検診実施率（被保険者）
 （被保険者に対してマニュアルに記載されたがん検診を実施している団体の割合）

医療保険者種別	がん種	検査項目 合致団体数	がん検診 実施団体数	実施率
健康保険組合	胃がん	25	27	92.5%
	大腸がん	27	27	100.0%
	肺がん	27	27	100.0%
	子宮頸がん	26	26	100.0%
	乳がん	24	25	96.0%
国民健康保険組合	胃がん	6	6	100.0%
	大腸がん	6	6	100.0%
	肺がん	6	6	100.0%
	子宮頸がん	6	6	100.0%
	乳がん	6	6	100.0%
市町村国保	胃がん	18	18	100.0%
	大腸がん	18	18	100.0%
	肺がん	17	18	94.4%
	子宮頸がん	15	15	100.0%
	乳がん	13	14	92.8%
全国健康保険協会	胃がん	1	1	100.0%
	大腸がん	1	1	100.0%
	肺がん	1	1	100.0%
	子宮頸がん	1	1	100.0%
	乳がん	1	1	100.0%
共済組合	胃がん	4	4	100.0%
	大腸がん	4	4	100.0%
	肺がん	4	4	100.0%
	子宮頸がん	2	4	50.0%
	乳がん	3	4	75.0%

※ 「検査項目合致団体数」は国が推奨している検査を実施している団体数。

表4 マニュアルに記載された検査による検診実施率（被扶養者）
 （被扶養者に対してマニュアルに記載されたがん検診を実施している団体の割合）

医療保険者種別	がん種	マニュアルに 記載された 検査項目 実施団体数	がん検診 実施団体数	実施率
健康保険組合	胃がん	24	24	100.0%
	大腸がん	24	24	100.0%
	肺がん	25	25	100.0%
	子宮頸がん	26	26	100.0%
	乳がん	24	25	96.0%

国民健康保険組合	胃がん	6	6	100.0%
	大腸がん	6	6	100.0%
	肺がん	6	6	100.0%
	子宮頸がん	6	6	100.0%
	乳がん	6	6	100.0%
共済組合	胃がん	4	4	100.0%
	大腸がん	4	4	100.0%
	肺がん	4	4	100.0%
	子宮頸がん	2	3	66.6%
	乳がん	3	3	100.0%

※ 国民健康保険には「被扶養者」という概念はないため、対象人数については「家族」としてご回答いただいた団体のみ集計。
市町村国保については集計値なし。また全国健康保険協会については被扶養者向けがん検診の実施なし。

(2) がん検診受診率

- 被保険者向けのがん検診受診率は、胃、大腸、肺に比べて子宮頸、乳の受診率が低い（表5）。
- 被扶養者向けのがん検診受診率は被保険者向けに比べて低いが、がん種による受診率の差は少ない（表6）。

表5 がん検診受診率（被保険者）

（各医療保険者において対象者の内、各がん種の検診を受けた被保険者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数	被保険者数	受診率
健康保険組合	胃がん	86,930	180,003	48.2%
	大腸がん	95,768	182,623	52.4%
	肺がん	141,094	207,409	68.0%
	子宮頸がん	16,773	48,078	34.8%
	乳がん	19,489	59,665	32.6%
国民健康保険組合	胃がん	3,429	12,603	27.2%
	大腸がん	4,360	12,603	34.5%
	肺がん	3,748	12,603	29.7%
	子宮頸がん	948	4,872	19.4%
	乳がん	933	5,368	17.3%
市町村国保	胃がん	24,543	407,323	6.0%
	大腸がん	32,725	406,035	8.0%
	肺がん	26,423	366,921	7.2%
	子宮頸がん	10,689	200,554	5.3%
	乳がん	8,786	187,725	4.6%

全国健康保険協会	胃がん	134,284	341,116	39.3%
	大腸がん	182,127	341,116	53.3%
	肺がん	207,062	341,116	60.7%
	子宮頸がん	17,517	—	—
	乳がん	12,325	—	—
共済組合	胃がん	12,654	37,260	33.9%
	大腸がん	13,727	36,985	37.1%
	肺がん	22,234	39,121	56.8%
	子宮頸がん	1,499	11,182	13.4%
	乳がん	1,149	11,182	10.2%

※ 市町村国保については市町村が実施するがん検診の受診者は含まず、人間ドックの費用助成を利用した人数から算出

※ 全国健康保険協会については、平成28年度の受診者数から算出

※ 受診者数、被保険者数ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被保険者数は平成29年4月1日時点。

表6 がん検診受診率（被扶養者）

（医療保険者の被扶養者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数	被扶養者数	受診率
健康保険組合	胃がん	16,243	62,911	25.8%
	大腸がん	17,548	63,388	27.6%
	肺がん	21,036	123,876	16.9%
	子宮頸がん	15,912	65,709	24.2%
	乳がん	16,441	64,565	25.4%
国民健康保険組合	胃がん	1,267	5,530	22.9%
	大腸がん	1,429	5,530	25.8%
	肺がん	1,361	5,530	24.6%
	子宮頸がん	990	4,796	20.6%
	乳がん	950	4,834	19.6%
共済組合	胃がん	962	14,818	6.4%
	大腸がん	1,108	14,818	7.4%
	肺がん	902	14,818	6.0%
	子宮頸がん	269	10,800	2.4%
	乳がん	300	10,800	2.7%

※ 国民健康保険には「被扶養者」という概念はないため、「家族」として集計値を回答いただいた団体のみ反映。市町村国保は集計値なし。また、全国健康保険協会については被扶養者向けがん検診の実施なし。

※ 受診者数、被扶養者ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被扶養者は平成29年4月1日時点。

表7 40歳以上がん検診受診率（被保険者）※子宮頸がんは20歳以上
（医療保険者の40歳以上の被保険者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数 (40歳以上)	被保険者数 (40歳以上)	受診率
健康保険組合	胃がん	64,848	121,620	53.3%
	大腸がん	59,791	125,121	47.7%
	肺がん	96,722	121,258	79.7%
	子宮頸がん	17,394	63,987	27.1%
	乳がん	9,459	31,285	30.2%
国民健康保険組合	胃がん	3,276	7,379	44.3%
	大腸がん	3,477	4,861	71.5%
	肺がん	3,490	7,379	47.2%
	子宮頸がん	948	1,892	50.1%
	乳がん	879	1,271	69.1%
市町村国保	胃がん	24,382	357,569	6.8%
	大腸がん	30,285	348,138	8.6%
	肺がん	26,834	341,602	7.8%
	子宮頸がん	10,364	216,548	4.7%
	乳がん	8,729	172,278	5.0%
全国健康保険協会	胃がん	112,032	311,924	35.9%
	大腸がん	154,579	311,924	49.5%
	肺がん	175,013	311,924	56.1%
	子宮頸がん	17,517	203,430	8.6%
	乳がん	12,325	116,995	10.5%
共済組合	胃がん	10,047	10,341	97.1%
	大腸がん	8,682	10,341	83.9%
	肺がん	10,387	10,341	100.0%
	子宮頸がん	828	6,370	12.9%
	乳がん	—	—	—

※ 受診者数、被保険者数ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被保険者数は平成29年4月1日時点。

表8 40歳以上がん検診受診率（被扶養者）※子宮頸がんは20歳以上
（医療保険者の40歳以上の被扶養者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数 (40歳以上)	被扶養者数 (40歳以上)	受診率
健康保険組合	胃がん	9,835	41,691	23.5%
	大腸がん	9,576	42,161	22.7%
	肺がん	12,967	40,537	31.9%
	子宮頸がん	17,497	80,045	21.8%
	乳がん	10,781	43,007	25.0%

国民健康保険組合	胃がん	1,231	4,447	27.6%
	大腸がん	1,342	4,447	30.1%
	肺がん	1,318	4,447	29.6%
	子宮頸がん	990	5,263	18.8%
	乳がん	928	4,032	23.0%
共済組合	胃がん	600	4,405	13.6%
	大腸がん	600	4,405	13.6%
	肺がん	600	4,405	13.6%
	子宮頸がん	171	8,888	1.9%
	乳がん	—	—	—

※ 全国健康保険協会については、被扶養者向けがん検診の実施はなし。

※ 受診者数、被扶養者ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被扶養者は平成29年4月1日時点。

- 被保険者向け、被扶養者向けのがん検診ともに、受診勧奨を実施している場合の受診率は実施していない場合に比べて概ね高い（表9、10、11、12）
- 被保険者向けのがん検診では特に、肺がん検診での受診勧奨の効果が高い（表9、10）。
- 被扶養者向けがん検診でも、受診勧奨を実施している場合の受診率は、実施していない場合に比べて高い（表11、12）が、被保険者向けほどの効果は見受けられない（表9）。また、被保険者向けのような、がん種による効果の差も見受けられない（表9、11）。

表9 受診勧奨がある場合のがん検診受診率（被保険者）

（受診勧奨を行った各医療保険者の被保険者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数	被保険者数 (受診勧奨あり)	受診率
健康保険組合	胃がん	7,879	15,303	51.4%
	大腸がん	13,469	19,757	68.1%
	肺がん	73,431	76,893	95.4%
	子宮頸がん	3,868	7,083	54.6%
	乳がん	5,511	8,401	65.5%
国民健康保険組合	胃がん	1,575	5,619	28.0%
	大腸がん	2,479	5,619	44.1%
	肺がん	1,653	5,619	29.4%
	子宮頸がん	373	1,753	21.2%
	乳がん	383	2,249	17.0%
市町村国保	胃がん	600	43,018	1.3%
	大腸がん	6,614	55,441	11.9%
	肺がん	—	—	—
	子宮頸がん	1,339	39,555	3.3%
	乳がん	1,050	11,936	8.7%

全国健康保険協会	胃がん	134,284	341,116	39.3%
	大腸がん	182,127	341,116	53.3%
	肺がん	207,062	341,116	60.7%
	子宮頸がん	—	—	—
	乳がん	—	—	—
共済組合	胃がん	10,240	18,616	55.0%
	大腸がん	10,985	18,341	59.8%
	肺がん	19,768	20,477	96.5%
	子宮頸がん	411	556	73.9%
	乳がん	205	556	36.8%

※ 受診者数、対象者数ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被保険者数は平成29年4月1日時点。

表10 受診勧奨がない場合のがん検診受診率（被保険者）

（受診勧奨がなかった医療保険者の被保険者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数	被保険者数 (受診勧奨なし)	受診率
健康保険組合	胃がん	79,051	164,700	47.9%
	大腸がん	82,299	162,866	50.5%
	肺がん	67,663	130,516	51.8%
	子宮頸がん	12,905	40,995	31.4%
	乳がん	13,978	51,264	27.2%
国民健康保険組合	胃がん	1,854	6,984	26.5%
	大腸がん	1,881	6,984	26.9%
	肺がん	2,095	6,984	29.9%
	子宮頸がん	575	3,119	18.4%
	乳がん	550	3,119	17.6%
市町村国保	胃がん	23,973	364,463	6.5%
	大腸がん	26,111	350,594	7.4%
	肺がん	26,423	366,921	7.2%
	子宮頸がん	9,350	160,999	5.8%
	乳がん	7,395	157,829	4.6%
共済組合	胃がん	2,414	18,644	12.9%
	大腸がん	2,742	18,644	14.7%
	肺がん	2,466	18,644	13.2%
	子宮頸がん	1,088	10,626	10.2%
	乳がん	944	10,626	8.8%

※ 受診者数、対象者数ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被保険者数は平成29年4月1日時点。

表 1 1 受診勧奨がある場合のがん検診受診率（被扶養者）
 （受診勧奨を行った医療保険者の被扶養者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数	被扶養者数 (受診勧奨あり)	受診率
健康保険組合	胃がん	2,832	6,743	41.9%
	大腸がん	3,089	7,134	43.2%
	肺がん	2,836	6,414	44.2%
	子宮頸がん	1,234	3,642	33.8%
	乳がん	2,473	6,241	39.6%
国民健康保険組合	胃がん	657	2,703	24.3%
	大腸がん	794	2,703	29.3%
	肺がん	660	2,703	24.4%
	子宮頸がん	512	2,198	23.2%
	乳がん	502	2,236	22.4%

※ 国民健康保険には「被扶養者」という概念はないため、「家族」として集計値を回答いただいた団体のみ反映。市町村国保は集計値なし。また、全国健康保険協会については被扶養者向けがん検診の実施なし。共済組合については被扶養者むけに受診勧奨を行っている団体なし。

※ 受診者数、対象者数ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被扶養者は平成29年4月1日時点。

表 1 2 受診勧奨がない場合のがん検診受診率（被扶養者）
 （受診勧奨がなかった各医療保険者の被扶養者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数	被扶養者 (受診勧奨なし)	受診率
健康保険組合	胃がん	13,411	56,168	23.8%
	大腸がん	14,227	55,756	25.5%
	肺がん	17,762	116,863	15.1%
	子宮頸がん	14,304	61,345	23.3%
	乳がん	13,564	57,602	23.5%
国民健康保険組合	胃がん	610	2,827	21.5%
	大腸がん	635	2,827	22.4%
	肺がん	701	2,827	24.7%
	子宮頸がん	478	2,598	18.3%
	乳がん	448	2,598	17.2%
共済組合	胃がん	962	14,818	6.4%
	大腸がん	1,108	14,818	7.4%
	肺がん	902	14,818	6.0%
	子宮頸がん	269	10,800	2.4%
	乳がん	300	10,800	2.7%

※ 国民健康保険には「被扶養者」という概念はないため、「家族」として集計値を回答いただいた団体のみ反映。市町村国保は集計値なし。また、全国健康保険協会については被扶養者向けがん検診の実施なし。

※ 受診者数、対象者数ともに回答のあった団体のみ算入。 ※被扶養者は平成29年4月1日時点。

Ⅲ 総括

(1) 実施状況

- ほとんどの医療保険者では何らかのがん検診が実施されており、そのほとんどが国の『マニュアル』に記載された検査で実施されている。(今回の調査では、精度管理等については質問していない。)
- 一方で、がん検診を実施していない医療保険者もあることから、被保険者、被扶養者には市町村が実施するがん検診等への誘導などが必要と考えられる。

(2) がん検診受診率

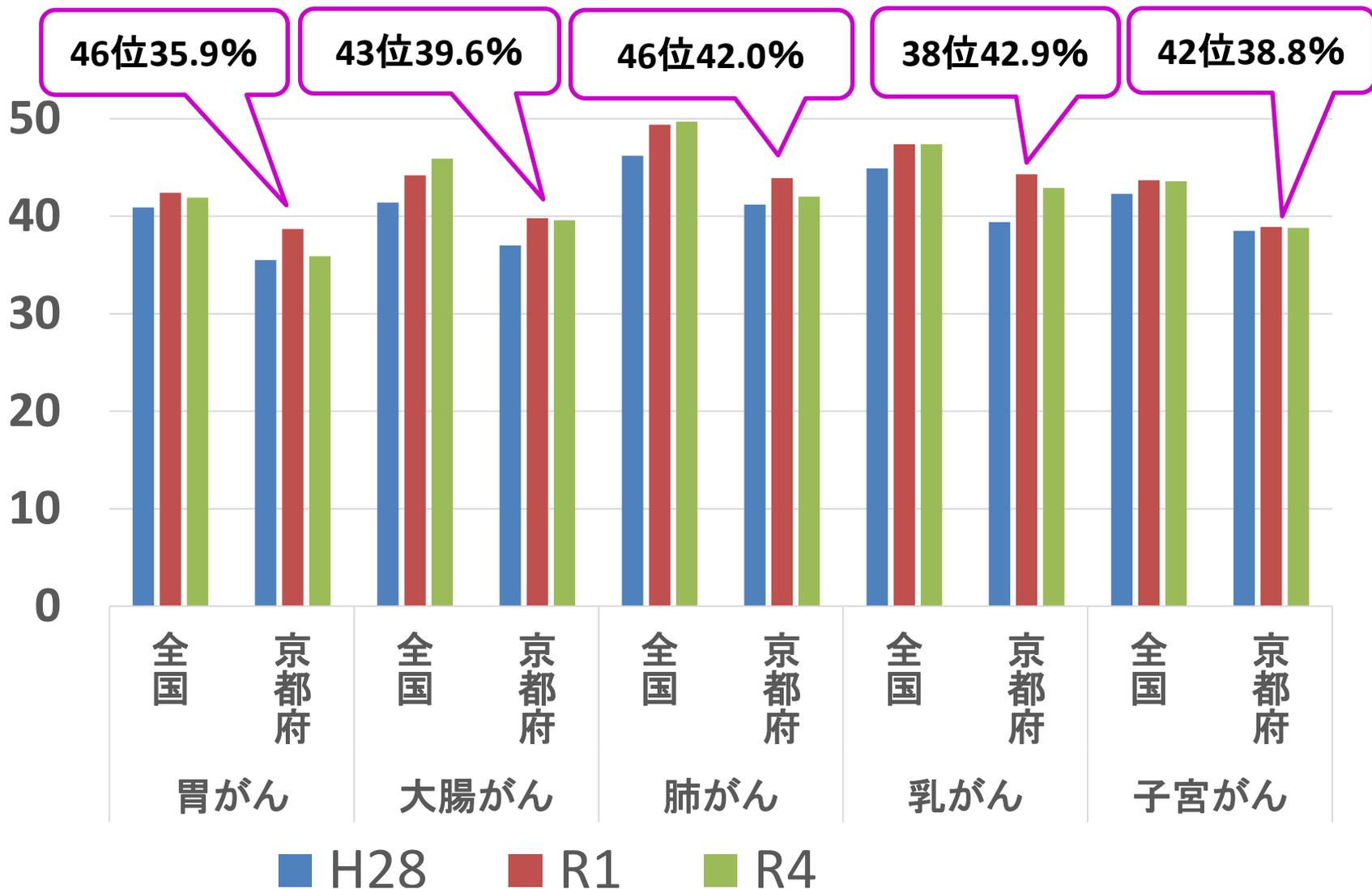
- がん検診の受診が推奨されている年齢層の職域におけるがん検診の受診率は比較的高いが、子宮頸がん及び乳がんについては受診率が低いため、原因の分析と、市町村が実施するがん検診へ誘導するなどの対策が必要と考えられる。

(3) 受診勧奨の効果

- 受診勧奨を実施している場合のがん検診受診率は、実施していない場合に比べて高く、受診率向上へのアプローチとしては有効と考えられる。
- 特に被保険者向けの肺がん検診では、受診勧奨がある場合の受診率(67.9%)とない場合の受診率(18.8%)の差が他のがん腫に比べて大きくなっているため、各がん種の受診勧奨の方法等について比較検証を行い、他のがん種の受診勧奨に応用することも必要と考えられる。

施策の方向		指標分類	番号	再掲	指標	基準値	実績値 (令和6年度報告)		目標値 (令和11(2029)年度)	進捗 状況	データソース	令和6年度取組状況	今後の取組方針等	
【2次予防：がんの早期発見、がん検診】														
①検診の受診率向上														
	中間アウトカム指標	B 4			胃がん検診受診率	令和4(2022)年度	35.9%	令和4(2022)年度	35.9%	60.0%	国民生活基礎調査	<ul style="list-style-type: none"> マンガを活用した検診啓発の実施 日本郵便株式会社、金融機関、生命保険株式会社と連携した検診ガイド等の配布 NPOや学校、企業と連携した検診啓発イベントの実施(ピンクリボン京都、リレー・フォーライフ・ジャパン京都) がん検診強化月間(9月~11月)を設定し、市町村、関係団体等と連携した受診キャンペーンを実施 	検診の受診率向上に係る各施策を実施するとともに、関係団体と連携した受診啓発、受診勧奨を継続し、目標達成を目指す。	
					肺がん検診受診率	令和4(2022)年度	42.0%	令和4(2022)年度	42.0%	60.0%	国民生活基礎調査			
					大腸がん検診受診率	令和4(2022)年度	39.6%	令和4(2022)年度	39.6%	60.0%	国民生活基礎調査			
					乳がん検診受診率	令和4(2022)年度	42.9%	令和4(2022)年度	42.9%	60.0%	国民生活基礎調査			
					再掲 子宮頸がん検診受診率	令和4(2022)年度	38.8%	令和4(2022)年度	38.8%	60.0%	国民生活基礎調査			
受診率向上のため の啓発	アウトプット指標	C 4			受診率向上部会の開催状況	令和4(2022)年度	0	令和6(2024)年度	1回(今年度中に開催予定)	毎年1回	健康対策課調べ	各団体の受診率向上に係る取組を共有予定	継続的に開催、連携事項の検討	
					がん検診と特定健診等同時受診を実施している市町村数	令和5(2023)年度	23市町村	令和6(2024)年度	24市町村	26市町村	健康対策課調べ	<ul style="list-style-type: none"> 市町村等がん検診担当者を対象とした研修会等で、実施状況や好事例等を共有 土日セット検診についてH25から補助制度を設け推奨(令和5年度11市町に対して補助) 京都府生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診部会を開催し、市町村及び検診機関における精度管理を実施 	市町村の実施状況を把握し、同時受診の実施を推進	
					休日・夜間検診体制をもつ市町村数	令和5(2023)年度	24市町村	令和6(2024)年度	24市町村	26市町村	健康対策課調べ			
					「がん予防重点健康教育及びがん検診実施の指針」に基づく検診実施率	令和5(2023)年度	81.8%	令和6(2024)年度	80.3%	100%	市区町村におけるがん検診の実施状況調査			
環境 診 づ く り す い														
②精度管理・検診従事者の資質向上														
	中間アウトカム指標	B 5			精検受診率(胃がん・バリウム)	令和2(2020)年度	85.8%	令和3(2021)年度	82.1%	100%	地域保健・健康増進事業報告	精度管理・検診従事者の資質向上に係る各施策を実施することともに、市町村や関係団体と連携した受診啓発、受診勧奨を継続し、目標値の達成を目指す。		
					精検受診率(胃がん・内視鏡)	令和2(2020)年度	79.1%	令和3(2021)年度	80.4%	100%	地域保健・健康増進事業報告			
					精検受診率(肺がん)	令和2(2020)年度	86.8%	令和3(2021)年度	89.1%	100%	地域保健・健康増進事業報告			
					精検受診率(大腸がん)	令和2(2020)年度	74.2%	令和3(2021)年度	70.9%	100%	地域保健・健康増進事業報告			
					精検受診率(乳がん)	令和2(2020)年度	94.8%	令和3(2021)年度	94.6%	100%	地域保健・健康増進事業報告			
					精検受診率(子宮頸がん)	令和2(2020)年度	83.2%	令和3(2021)年度	83.5%	100%	地域保健・健康増進事業報告			
					がん発見率(胃がん・バリウム)	令和2(2020)年度	0.10%	令和3(2021)年度	0.06%	0.11%以上	地域保健・健康増進事業報告			
					がん発見率(胃がん・内視鏡)	令和2(2020)年度	0.43%	令和3(2021)年度	0.51%	0.11%以上	地域保健・健康増進事業報告			
					がん発見率(肺がん)	令和2(2020)年度	0.03%	令和3(2021)年度	0.05%	0.03%以上	地域保健・健康増進事業報告			
					がん発見率(大腸がん)	令和2(2020)年度	0.23%	令和3(2021)年度	0.21%	0.13%以上	地域保健・健康増進事業報告			
					がん発見率(乳がん)	令和2(2020)年度	0.28%	令和3(2021)年度	0.36%	0.23%以上	地域保健・健康増進事業報告			
					がん発見率(子宮頸がん)	令和2(2020)年度	0.02%	令和3(2021)年度	0.01%	0.05%以上	地域保健・健康増進事業報告			
					再掲	がん種別年齢調整罹患率(人口10万対)(胃)	令和元(2019)年度	45.5	令和2(2020)年度	39.1	減少		○	京都府がん実態調査報告書
					再掲	がん種別年齢調整罹患率(人口10万対)(肺)	令和元(2019)年度	45.1	令和2(2020)年度	43.6	減少		○	京都府がん実態調査報告書
					再掲	がん種別年齢調整罹患率(人口10万対)(大腸)	令和元(2019)年度	58.0	令和2(2020)年度	55.4	減少		○	京都府がん実態調査報告書
					再掲	がん種別年齢調整罹患率(人口10万対)(女性乳房)	令和元(2019)年度	89.4	令和2(2020)年度	92.2	減少		—	京都府がん実態調査報告書

京都府のがん検診受診率



令和7年度当初予算案主要事項(令和6年度2月補正含む)説明

健康福祉部

事業名	がん対策総合推進事業費		新規・継続の別		継続																																					
	予算額	220,439千円	国庫	起債	その他	一般財源																																				
			92,530	-	29,359	98,550																																				
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 京都府がん対策推進条例に基づき、がん検診受診率の向上をはじめ、がん教育の推進、相談支援の強化、がん医療提供体制の充実など、総合的ながん対策を推進</p> <p>2 事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分 ・ 内 容</th> <th>予 算 額 (千 円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">予防・早期発見</td> </tr> <tr> <td>受動喫煙防止対策の推進 改正健康増進法の周知啓発、受動喫煙防止憲章による府民運動の展開</td> <td>765</td> </tr> <tr> <td>がん教育の推進 がん経験者等によるがん教育・啓発</td> <td>7,480</td> </tr> <tr> <td>100万人がん検診啓発の推進 NPOと協働したイベントや府民へのがん検診受診促進の啓発</td> <td>554</td> </tr> <tr> <td>がん予防・検診の推進 ・各保健所において府民参加型の予防事業を実施 ・がん検診精度管理向上、胃内視鏡検診体制整備や市町村休日総合がん検診の支援等、受診環境整備を推進</td> <td>5,471</td> </tr> <tr> <td>胃がん予防の推進 ピロリ菌の1次除菌治療費を助成</td> <td>1,020</td> </tr> <tr> <td colspan="2">医療体制整備</td> </tr> <tr> <td>がん診療連携拠点病院機能強化 拠点病院等における相談支援、緩和ケア等のがん対策の取組強化への助成</td> <td>148,000</td> </tr> <tr> <td>在宅がん医療の推進 地域の医療機関のがん対応力向上に向けた研修の実施と連携の推進</td> <td>4,328</td> </tr> <tr> <td>がん登録の推進 がん登録により罹患率等の分析を実施</td> <td>26,340</td> </tr> <tr> <td colspan="2">相談・患者支援</td> </tr> <tr> <td>総合相談窓口の運営 がん患者の支援を充実するためのがん総合相談窓口を運営</td> <td>15,849</td> </tr> <tr> <td>小児・AYA世代がん患者の支援 生殖機能温存療法(卵子等保存)・温存後生殖補助医療に係る経費の助成</td> <td>8,637</td> </tr> <tr> <td>若年がん患者在宅療養支援事業 市町村が行う若年層がん患者に対する、福祉サービス等の在宅療養支援への助成</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>がん患者アピアランス支援事業 市町村が行うがん治療を受けている方等に対する、ウィッグや乳房補整具の購入支援への助成</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">推進体制</td> </tr> <tr> <td>がん対策推進府民会議の運営</td> <td>595</td> </tr> </tbody> </table>						区 分 ・ 内 容	予 算 額 (千 円)	予防・早期発見		受動喫煙防止対策の推進 改正健康増進法の周知啓発、受動喫煙防止憲章による府民運動の展開	765	がん教育の推進 がん経験者等によるがん教育・啓発	7,480	100万人がん検診啓発の推進 NPOと協働したイベントや府民へのがん検診受診促進の啓発	554	がん予防・検診の推進 ・各保健所において府民参加型の予防事業を実施 ・がん検診精度管理向上、胃内視鏡検診体制整備や市町村休日総合がん検診の支援等、受診環境整備を推進	5,471	胃がん予防の推進 ピロリ菌の1次除菌治療費を助成	1,020	医療体制整備		がん診療連携拠点病院機能強化 拠点病院等における相談支援、緩和ケア等のがん対策の取組強化への助成	148,000	在宅がん医療の推進 地域の医療機関のがん対応力向上に向けた研修の実施と連携の推進	4,328	がん登録の推進 がん登録により罹患率等の分析を実施	26,340	相談・患者支援		総合相談窓口の運営 がん患者の支援を充実するためのがん総合相談窓口を運営	15,849	小児・AYA世代がん患者の支援 生殖機能温存療法(卵子等保存)・温存後生殖補助医療に係る経費の助成	8,637	若年がん患者在宅療養支援事業 市町村が行う若年層がん患者に対する、福祉サービス等の在宅療養支援への助成	1,000	がん患者アピアランス支援事業 市町村が行うがん治療を受けている方等に対する、ウィッグや乳房補整具の購入支援への助成	400	推進体制		がん対策推進府民会議の運営	595
	区 分 ・ 内 容	予 算 額 (千 円)																																								
予防・早期発見																																										
受動喫煙防止対策の推進 改正健康増進法の周知啓発、受動喫煙防止憲章による府民運動の展開	765																																									
がん教育の推進 がん経験者等によるがん教育・啓発	7,480																																									
100万人がん検診啓発の推進 NPOと協働したイベントや府民へのがん検診受診促進の啓発	554																																									
がん予防・検診の推進 ・各保健所において府民参加型の予防事業を実施 ・がん検診精度管理向上、胃内視鏡検診体制整備や市町村休日総合がん検診の支援等、受診環境整備を推進	5,471																																									
胃がん予防の推進 ピロリ菌の1次除菌治療費を助成	1,020																																									
医療体制整備																																										
がん診療連携拠点病院機能強化 拠点病院等における相談支援、緩和ケア等のがん対策の取組強化への助成	148,000																																									
在宅がん医療の推進 地域の医療機関のがん対応力向上に向けた研修の実施と連携の推進	4,328																																									
がん登録の推進 がん登録により罹患率等の分析を実施	26,340																																									
相談・患者支援																																										
総合相談窓口の運営 がん患者の支援を充実するためのがん総合相談窓口を運営	15,849																																									
小児・AYA世代がん患者の支援 生殖機能温存療法(卵子等保存)・温存後生殖補助医療に係る経費の助成	8,637																																									
若年がん患者在宅療養支援事業 市町村が行う若年層がん患者に対する、福祉サービス等の在宅療養支援への助成	1,000																																									
がん患者アピアランス支援事業 市町村が行うがん治療を受けている方等に対する、ウィッグや乳房補整具の購入支援への助成	400																																									
推進体制																																										
がん対策推進府民会議の運営	595																																									
担当課 担当名	健康対策課 "	健康増進・企画係 がん対策係	課・担当 電話番号	075-414-4724 075-414-4739																																						

受診環境の整備

◆市町村休日総合がん検診支援事業

休日に総合がん検診を実施する市町村に対して補助を実施
R4：11市町村 R5：11市町村 R6：10市町村

◆コンビニ駐車場を活用したがん検診事業

株式会社ローソンとの地域包括連携協定に基づき、
ローソンの駐車場をお借りし、市町村がん検診を実施
R4：4市町村 R5：4市町村 R6：4市町村

◆胃がん内視鏡検診管外受診制度

胃がんの早期発見・早期治療の促進により胃がん死亡率の減少につなげるため、
府内広域的に胃がん検診を受診できる体制を整備
R5：3市町村 R6：14市町村 R7：16市町村（予定）

◆乳がん検診管外受診制度

R5：16市町村 R6：16市町村 R7：16市町村（予定）

多様な媒体を活用した検診啓発

◆各種検診啓発マンガ

「カタイ」話をわかりやすく、手に取りたくなる
「マンガ」を、京都精華大学に制作を委託



◆デジタルサイネージ用啓発動画

令和5年度まで11月に府内15箇所放映
令和6年度は精華町内設置のデジタルサイネージにて放映



地域活性化包括連携協定による取組

◆日本郵便株式会社との取組

- ・府内郵便局にポスターを配付
- ・バイクにステッカーを貼付
(令和5年度は四輪車両、ポストにも貼付)



◆イオン株式会社との取組

- ・店舗でのポスター掲示、チラシの配架や音声放送による検診受診勧奨
- ・啓発イベントの実施



◆金融機関及び生命保険会社との取組

- ・金融機関店舗に市町村のがん検診ガイドを配架
- ・生命保険会社外交員によるチラシ配布

NPO等と連携した疾患及び検診啓発（イベント等）

◆ピンクリボン京都（乳がん及び乳がん検診啓発イベント）

- ・ピンクリボン2024ライトアップイベント
(ライトアップ可能な施設を募集中)
- ・スタンプラリー&ウォークイベント
- ・ピンクリボンセミナー



◆胃がん啓発ブルーライトアップ

世界各国の胃がん患者や家族会が連携し、各地のランドマークを青色にライトアップ



NHKと連携した受診勧奨

◆がん撲滅キャンペーン

- ・ テレビ番組の放送に合わせて個別受診勧奨を実施
- ・ がん検診を受けなければと思っていただくと同時に、がん検診を申込みにつけていただくため、番組を見て「検診を受けようかな」と思ったときには手元に受診の案内が届いている状況を作り出す。



各種セミナー

◆がん検診従事者研修会

- ・ 市町村及び検診機関のがん検診担当者が、受診率向上策や検診の精度管理に関する知識を身に着けることを目的とし、研修会を実施

◆生命のがん教育

- ・ 府内の小中高等学校にてがんに関する出前講座を実施（令和6年度89校）

◆がんセミナーの開催（企業向け出前講座）

- ・ 府内の企業向けに出前講座を実施



	取組内容
乙訓	<p>○管内各市町歯のひろば、大山崎町民体育祭、子育てふれあいフェスタにおけるがん検診受診啓発ポスター掲示、パンフレット配架、啓発物品配布。</p> <p>○庁舎ロビーでのピンクリボン月間ポスター掲示、パンフレット配架。</p>
山城北	<p>○がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間に合わせて、保健所ロビーにおいて、がん検診受診について等のチラシ・パンフレット及びポスターを配架・掲示</p> <p>○ピンクリボン月間に合わせて、保健所ロビーにおいて、乳がん触診モデルの設置、乳がんに関するパンフレット及びポスターを配架・掲示</p>
山城南	<p>○各種啓発月間等の際に保健所内にポスター掲示やリーフレットの配架を実施。</p> <p>○市町村および各団体が実施する啓発イベント等に保健所も出展し、がん対策やがん検診受診率向上に関する情報を発信。</p> <p>○管内企業や職能団体と連携し事業を実施する際に、がんや健康づくりに関する情報を提供。</p>
南丹	<p>○ピンクリボン啓発</p> <p>2市町乳幼児健診で保護者へ保健所作成の乳がん検診・自己検診啓発チラシを配布</p> <p>○ピンクリボン街頭啓発</p> <p>京都キッズスポーツフェスタ開催時に乳がん検診受診啓発のぼり設置、保健所作成の乳がん検診・自己検診啓発チラシを配布(亀岡市Facebookに街頭啓発、乳がん自己検診について掲載依頼)</p> <p>○ピンクリボンブース展示</p> <p>南丹保健所玄関にブースを設け、ポスターの掲示、のぼりの設置、乳がん触診モデルの展示、乳がん検診啓発のパンフレット・チラシの配架</p>
中丹西	<p>○健診受診キャンペーン(夏から秋の半日間)</p> <p>福知山内のスーパーで健診(検診)受診の勧奨をするための街頭啓発。</p> <p>○コンビニ健診(11月)</p> <p>検診受診者とコンビニ来店者に啓発物を配架。</p> <p>○乳がん検診受診勧奨の横断幕の展示(10月)</p> <p>○府民会議にて健診(検診)受診勧奨の啓発作成し、イベント等で配布。</p>
中丹東	<p>○乳がん月間啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所の外壁に横断幕設置し、ピンク色にライトアップ ・保健所玄関に特設ブースを設置(乳がん自己触診モデル設置等) ・女性のがん啓発として、子宮頸がんのポスター掲示も同時に実施 <p>○京都労働基準協会定期健康診断会場で、たばこリーフレットやがん検診について啓発</p> <p>○「あやべ食育・すこやかフェスティバル」でたばこやがん検診について啓発</p>
丹後	<p>○管内がん対策推進事業担当者会議の開催にてがん検診受診率向上に向けた協議</p> <p>○イベントでのチラシ、啓発グッズの配布</p>

各団体における令和6年度の取組等

	取組内容	取組に係る提案等
一般社団法人 京都府医師会	市町村の委託を受け、各種がん検診（胃がん（内視鏡）、大腸がん、前立腺がん、子宮頸がん、乳がん）の個別検診実施医療機関を募集している。	特記なし
一般社団法人 京都府歯科医師会	平成30年度より京都市民を対象に口腔粘膜検診を実施。啓発物の作成、配布（京都市委託事業）	府民に対する周知徹底
一般社団法人 京都府薬剤師会	令和5年度、6年度：京都市作成「がん検診ガイド」を京都市内の全保険薬局に送付し、啓蒙につとめた。	特記なし
公益社団法人 京都府看護協会	研修センター内に、「がん検診に行こう」「受動喫煙対策」「健康寿命を延ばそう」等のポスターを掲示し啓発している。	特記なし
一般社団法人 京都府栄養士会	現在は検診受診率向上に向けた取り組みは特にしていない。がんにならないための健康づくり、生活習慣病の発症予防に取り組んでいる。健康寿命の延伸につとめている。	広報活動には協力できる（ポスターの掲示、会報への啓発マークの印刷等）
公益財団法人 京都予防医学センター	○土日の実施 ○総合健診化による検診の魅力アップ ○社保の特定健診同時実施	○申し込み手続きの簡略 ○利便性の向上（WEB予約システムの提案） ○受診環境の改善（待ち時間短縮等）
一般財団法人 京都工場保健会	○検診予約のタイミングに、受診を促すお知らせを実施。また、未受診者に対しては個別に産業保健スタッフから未受診理由を確認する旨のお知らせを事前に案内。 ○胃透視撮影を基本とし、有所見がある方に限り胃カメラへの変更を可能としていたが、希望者全員が胃カメラ検査変更可とした（費用は全額法人負担） ○婦人科検診はオプション検査としていたが、職員の定期健診項目にくみ、検診内容は、弊会婦人科医師と相談し、なるべく個別の状況に応じた検診内容を受診できるようにした。 ○婦人科検診の医師名を予約時点で確認できるようにした（同僚の婦人科医師がいるため）。 ○乳がん検診、子宮頸がん検診を外部の医療機関で受診する場合、費用の一部を法人負担とした。 ○前年がん検診未受診者に対し、検診前に、検診受診の必要性等の啓発と受診勧奨実施。 ○健康経営担当役員からも役員会、部門長会議でがん検診受診率向上への取組みについて説明。 ○安全衛生委員会等において、がん検診受診の必要性について呼びかけや、産業医から講話を実施。 ○全職員に対し、婦人科検診に関する動画研修を実施（女性の健康課題の研修も兼ねて実施） ○2023年度に弊会検診未受診者に対し、未受診理由のアンケート調査を実施。特に婦人科検診については、弊会以外の医療機関で検診受診している職員が一定数いることが判明したため、2024年度の健診より、外部の医療機関で受けた婦人科検診費用補助金を5倍に上げて実施	子宮頸がん検診の受診率が他がん検診と比べても低い状況から、未受診者に対する自己採取HPV検査の実施を検討している。
独立行政法人労働者健康福祉機構 京都産業保健総合支援センター	特記なし	特記なし
京都府国民健康保険団体連合会	特記なし	特記なし
全国健康保険協会京都支部	特記なし	特記なし

各団体における令和6年度の取組等

	取組内容	取組に係る提案等
健康保険組合連合会京都連合会	<p>健保連京都連合会は、府下29の健保組合の集合体であるため、がん検診受診率向上に向けた取り組みは各健保組合が自組合の環境条件を勘案したうえで、それぞれの対策を行っています。 そのため京都連合会としては、上記受診率向上だけを目的とした個別の取り組みは行っていません。</p>	特記なし
日本生命保険相互会社	<p>○大腸がん検診に関し、希望有無にかかわらず、検査キットを配布 ○がんに関する研修の実施</p>	特記なし
ピンクリボン京都実行委員会	<p>○乳がん検診の実施（約100名） ○京都駅前ライトアップイベントの実施 ○ピンクリボンセミナーの実施 ○東山、岡崎周辺のスタンプラリー&ウォークの実施 ○超党派乳がん、子宮頸がん検診促進議員連盟サポート団体</p>	<p>○検診受診の個別勧奨を実施することが、検診率向上の一助になる。 ○京都府下それぞれの市町村の地域性によってアプローチを変える必要がある。例えば、平日にお仕事に出かけられていて、土日に在宅率の高い地域は、年に数回、土日検診の実施をすることで、受診しやすい環境ができる。コミュニティのある地域は、女性会や町内会での情報拡散をお願いする。また、商業施設などに協力をお願いして、PRの機会を得られれば「知る」機会ができる。 ○がん教育に合わせて、身近な人への検診受診のお願いを子供たちにお手伝いしてもらおう（メッセージカードを送ったり、帰宅後のアンケート協力をお願いすれば、自然と子供との会話でがん教育の内容に親もふれることになる）</p>
株式会社京都新聞社	<p>紙面掲載による啓発 講演会やシンポジウムの開催、内容の紙面掲載 社内健康診断の実施</p>	特記なし
京都府市長会（宇治市）	別紙	特記なし
京都府町村会（与謝野町）	<p>○当町は府内でもがん検診受診率は上位を維持しており、その要因として、がん検診、住民健診の無料化、各がん検診や特定健診を同日に受診できる総合健診で連続17日間に渡って実施していることが大きいと考えています。 ○加えて、日曜日健診や追加健診の実施、健診申込書を個人ごとに個別通知の実施、肺がん検診未申込者への問診票の配布を行うとともに、未申込者に対して毎年対象を変えて（「過去5年間一度でも住民健診を受けた方」、「比較的若い世代に絞った未受診者の方」等）個別通知による受診勧奨の実施もしています。 ○健診申込期間中には、有線テレビの活用、町内放送、町HP、公式LINEによる広報、各庁舎の玄関に立て看板の設置、町内医療機関医師への受診勧奨の依頼や院内のポスターの掲示のお願いなど広報にも力を入れています。</p>	<p>日頃より、丹後保健所をはじめ京都府の協力のもと、丹後管内市町村のがん検診の円滑な推進のために支援をしていただき感謝しています。R8年からの導入を目指している子宮がん検診のHPV検査単独法について、自治体保健師等のマンパワー不足の中で、その体制整備等に関して京都府が主導的に調整いただくとともに、従来の健診費用よりも高額となった場合、その差額について京都府より一定の支援をいただくことができれば、各自治体が住民にとってより受診しやすい体制をととのえることができると考えます。</p>
京都市健康長寿企画課	<p>○がんセット検診の実施 最大5つの検診を1日で効率的に受診できる検診で、受診者の負担軽減につながるもの。 ○がん検診ガイドの配架 本市が実施しているがん検診の受診方法等を紹介する「がん検診ガイド」を作成し、国民健康保険世帯の約20万世帯や連携協定を締結している各協力企業等を中心として、受診勧奨、啓発を実施 ○市民しんぶん、公式SNSによる情報発信 市民しんぶん全市版9月号において、「がんについて知って欲しいこと」を特集として、早期治療の大切さや早期発見に向けてがん検診の受診方法等を発信 ○がん検診無料クーポン券配布事業 現在、子宮頸がん検診は20、24、28歳、乳がん検診は40歳の市民へ送付 ○40歳代偶数年齢の市民へ受奨はがきを送付（約8.8万人）</p>	<p>官民共同をより推進することでの、行政だけでは届けにくい層へのアプローチができないか。</p>

1. 宇治市の概要

人口: 179,860人 高齢化率: 30.3% (出典)宇治市の統計(2024.10月)

2. 宇治市の現状

(1) 死因別死亡割合は、「がん(悪性新生物)」が1位(28.5%)

(出典)令和3年京都府保険福祉統計

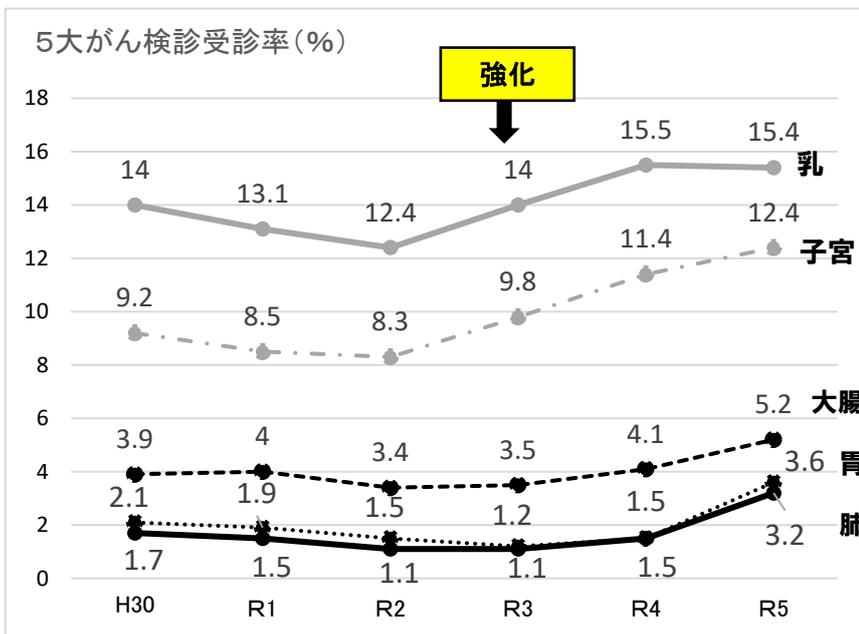
(2) がん標準化死亡比(SMR)は、女性の「胃がん」が全国・府より高い(108.6)。

男性は、「気管、気管支及び肺がん」が全国より高い(105.5)。

(出典)平成30年～令和4年人口動態統計特殊報告

(3) 5大がん検診の受診率

令和3年度からの「がん検診受診率向上対策」の強化→受診率はコロナ前と比べ増加傾向。



【参考】府内がん検診受診率順位

	令和元	令和2	令和3	令和4
胃がん	26位	25位	25位	24位
肺がん	25位	25位	26位	23位
大腸がん	25位	25位	25位	22位
乳がん	25位	23位	22位	18位
子宮がん	25位	25位	24位	22位

(出典)地域保健・健康増進報告

3. 受診率向上の取り組み

(1) 令和3年度～令和4年度

★国立がん研究センター大規模実証事業参加

「がん検診受診率の低さが深刻な問題。現行の広報等に大いに改善の余地ありと指摘あり。」

- 1) データ分析の徹底
- 2) 広報の見直し
- 3) 申し込み方法の電子化を推進
- 4) 不定期受診者への勧奨強化
- 5) 他業務との連携(国民健康保険特定健診受診勧奨とのタイアップ等)
- 6) 受診環境の整備



(例) 市政だより

改善

からだのための健康習慣！
年に1回検(健)診を受けましょう

健康づくり推進課 (☎20-8793)

個別健(検)診		がん検診		
年齢	検診内容	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
20～39歳	特定健康診査 特定健康診査(健康診断)※1	—	—	個別
40～49歳	—	個別	個別	個別
50～74歳	—	個別	個別	個別
75歳以上	—	個別	個別	個別

がん検診		集団検診(胃がん・肺がん・検診)	
乳がん	胃がん	胃がん	肺がん
個別	個別	集団	集団
700円	1400円	無料	無料

自己負担金免除制度があります	
<p>次の条件に該当する人は、事前申請により受診者負担金の無料になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活保護世帯 ○市役所非課税世帯(20歳以上の世帯員全員が非課税世帯) ○中核的福祉人等支援給付世帯 <p>印刷時に市へ申し込み、詳しくは7ページへ、※7ページ以上の人数が対象です。</p>	<p>申請の方法等、詳しくは7ページへ</p>

6月から、特定健康診査・がん検診等が始まります

※健康づくり推進課より、中核的福祉人等支援給付世帯の方へ

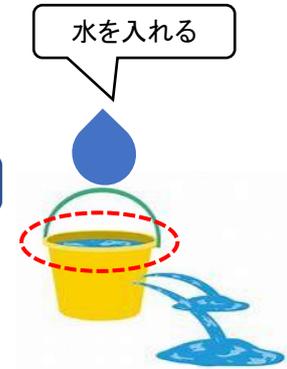
検診種別	実施機関	実施日時	実施場所
特定健康診査	宇治市立市民センター	6/15(日)	市民センター
がん検診	宇治市立市民センター	6/15(日)	市民センター
集団検診	宇治市立市民センター	6/15(日)	市民センター

(2) 令和5年度～令和6年度

★がん検診広報戦略の企画と強化

課題① 認知度が低い(30.3%) ※R6宇治市公式LINE調査(n=1,844)

- 1) 全市的な広報戦略を推進
- 2) 他課、他関係機関との連携拡大
- 3) ソーシャルメディアの活用(SNS、TV、ラジオ等)
- 4) がん検診PRイベントの開催



▲がん検診啓発ポスター



▲がん検診PRイベント

4. 今後の課題

課題②がん検診未受診理由・・・必要性を感じない(23.4%)

- * ターゲットを定め、がん検診の重点的な広報強化を推進する。
- * 無関心層にもがん予防の必要性を啓発し、受診の気運を高めるためイベントを開催。
- * 市民団体・民間企業・医療機関等と協働した啓発活動の推進。

分野別の各団体での取組内容

1. 広報

【京都府歯科医師会】

- 啓発物の作成、配布（京都市委託事業）

【京都府薬剤師会】

- 令和5年度、6年度：京都市作成「がん検診ガイド」を京都市内の全保険薬局に送付し、啓蒙にとめた。

【京都府看護協会】

- 研修センター内に、「がん検診に行こう」「受動喫煙対策」「健康寿命を延ばそう」等のポスターを掲示し啓発している。

【京都府向上保険会】

- 安全衛生委員会等において、がん検診受診の必要性について呼びかけ、産業医から講話を実施
- 全職員に対し、婦人科検診に関する動画研修を実施（女性の健康課題の研修も兼ねて実施）

【日本生命保険相互会社】

- がんに関する研修の実施

【ピンクリボン京都】

- 京都駅前ライトアップイベントの実施
- ピンクリボンセミナーの実施
- 東山、岡崎周辺のスタンプラリー&ウォークの実施

【京都新聞社】

- 紙面掲載による啓発
- 講演会やシンポジウムの開催、内容の紙面掲載

【京都府市長会（宇治市）】

- がん検診啓発イベントの開催
- チラシの全世帯ポスティング
- 市民だよりでの広報強化
- 胃・肺がん検診PRドラマ&ラジオCM40秒
- 宇治市ホームページサブサイト作成
- 国保電子掲示板への動画掲載
- SNS動画配信
- NHK あしたが変わるトリセツショー参加
- 「検診ちらし」の作成
- 中小・小規模企業への「がん検診アンケート調査」の実施

【京都府町村会（与謝野町）】

- 健診申込期間中には、有線テレビの活用、町内放送、町HP、公式LINEによる広報、各庁舎の玄関に立て看板の設置、町内医療機関医師への受診勧奨の依頼や院内のポスターの掲示のお願いなど広報にも力を入れています。

【京都市健康長寿企画課】

○がん検診ガイドの配架

本市が実施しているがん検診の受診方法等を紹介する「がん検診ガイド」を作成し、国民健康保険世帯の約20万世帯や連携協定を締結している各協力企業等を中心として、受診勧奨、啓発を実施

○市民しんぶん、公式SNSによる情報発信市民しんぶん全市版9月号において、「がんについて知って欲しいこと」を特集として、早期治療の大切さや早期発見に向けてがん検診の受診方法等を発信

2. 個別通知

【京都工場保険会】

○検診予約のタイミングに、受診を促すお知らせを実施。また、未受診者に対しては個別に産業保健スタッフから未受診理由を確認する旨のお知らせを事前に案内。

【京都府市長会（宇治市）】

○胃がんリスク検診 個別通知（全員）約27,000人

○国保被保険者への個別通知（特定健診とがん検診を一体的に広報）約24,000人

○乳・子宮頸がん検診 個別通知（一部）約8,000人

○乳・子宮頸・肝炎検診 無料クーポン通知 約8,500人

【京都市健康長寿企画課】

○がん検診無料クーポン券配布事業

現在、子宮頸がん検診は20、24、28歳、乳がん検診は40歳の市民へ送付

○40歳代偶数年齢の市民へ受奨はがきを送付（約8.8万人）”

3. 土日・セット検診

【京都予防医学センター】

○土日の実施、総合健診化による検診の魅力アップ、社保の特定健診同時実施

【京都府町村会（与謝野町）】

○当町は府内でもがん検診受診率は上位を維持しており、その要因として、がん検診、住民健診の無料化、各がん検診や特定健診を同日に受診できる総合健診で連続17日間に渡って実施していることが大きいと考えています。

○加えて、日曜日健診や追加健診の実施、健診申込書を個人ごとに個別通知の実施、肺がん検診未申込者への問診票の配布を行うとともに、未申込者に対して毎年対象を変えて（「過去5年間一度でも住民健診を受けた方」、「比較的若い世代に絞った未受診者の方」等）個別通知による受診勧奨の実施もしています。

【京都市健康長寿企画課】

○がんセット検診の実施

最大5つの検診を1日で効率的に受診できる検診で、受診者の負担軽減につながるもの。

4. 費用補助

【京都工場保険会】

○胃透視撮影を基本とし、有所見がある方に限り胃カメラへの変更を可能とされていたが、希望者全員が胃カメラ検査変更可とした（費用は全額法人負担）

- 乳がん検診、子宮頸がん検診を外部の医療機関で受診する場合、費用の一部を法人負担とした。
- 2023年度に弊会検診未受診者に対し、未受診理由のアンケート調査を実施。特に婦人科検診については、弊会以外の医療機関で検診受診している職員が一定数いることが判明したため、2024年度の健診より、外部の医療機関で受けた婦人科検診費用補助金を5倍に上げて実施

5. がん種別対策

【京都府歯科医師会】

- 平成29年度より京都市民を対象に口腔粘膜検診を実施（京都市委託事業）

【京都工場保険会】

- 婦人科検診はオプション検査としていたが、職員の定期健診項目にくみ、検診内容は、弊会婦人科医師と相談し、なるべく個別の状況に応じた検診内容を受診できるようにした。
- 婦人科検診の医師名を予約時点で確認できるようにした（同僚の婦人科医師がいるため）

【ピンクリボン京都】

- 乳がん検診の実施（約100名）

6. 精密検査受診啓発

特になし

7. その他

【京都府医師会】

- 市町村の委託を受け、各種がん検診（胃がん（内視鏡）、大腸がん、前立腺がん、子宮頸がん、乳がん）の個別検診実施医療機関を募集している。

【京都府栄養士会】

- 現在は検診受診率向上に向けた取り組みは特にしていない。がんにならないための健康づくり、生活習慣病の発症予防に取り組んでいる。健康寿命の延伸につとめている。

【京都工場保険会】

- 健康経営担当役員からも役員会、部門長会議でがん検診受診率向上への取り組みについて説明。

【健康保険組合連合会京都連合会】

- 健保連京都連合会は、府下29の健保組合の集合体であるため、がん検診受診率向上に向けた取り組みは各健保組合が自組合の環境条件を勘案したうえで、それぞれの対策を行っています。そのため京都連合会としては、上記受診率向上だけを目的とした個別の取り組みは行っておりません。

【日本生命保険相互会社】

- 大腸がん検診に関し、希望有無にかかわらず、検査キットを配布

【ピンクリボン京都】

- 超党派乳がん、子宮頸がん検診促進議員連盟サポート団体

【京都新聞社】

- 社内健康診断の実施

【京都府市長会（宇治市）】

- 公式LINEアンケート調査の実施”